

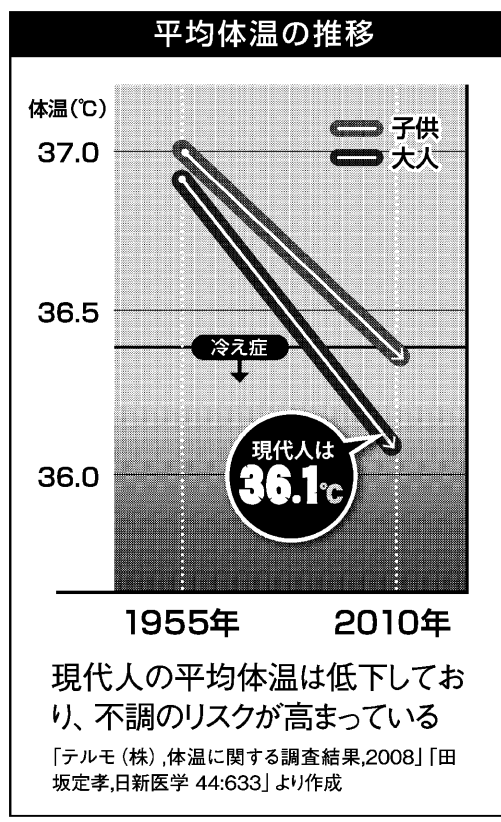


体を温めるだけで不調が逃げていく

めまい、頭のズキズキ、寝つきの悪さ、定期チェックではなぜか毎回注意をうけてしまっている。近年、原因不明の不調に悩まされる人が急増している。なんとかしたくて先生のところへ駆け込んで「歳のせいでは？」と、言われ、肩を落とした経験がある人も多いという。しかし、その原因が「冷え」にあるとしたら――？現代人の体に一体何が起きているのだろうか。

体温の低い現代人

一般的に理想の体温といわれているのは、 36.5°C ～ 37.1°C 。当てはまる方は少ないのではないだろうか。じつは、私たち現代人は昔にくらべて体温が低いといわれており、加齢とともに体温はさらに低下。体温が下がるとめまいが頻り、さまざまな不調の原因に。冷えは不調の大好物であるといえるため、放置す

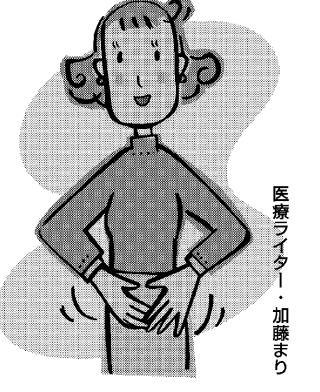


冷えは不調の大好物

「隠れ冷え体質」の可能性は十分にある。しかし逆にいえば、体温を高く保てばあらゆる不調を遠ざけることができるのだ。低温化の進んでしまった現代人にとって、冷え対策は「いまや必要不可欠」といっていいだろう。

内側から温める

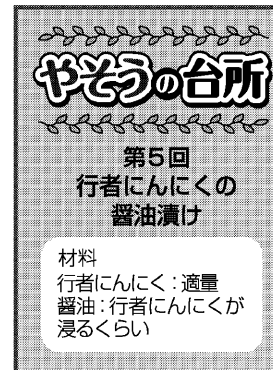
では具体的にどうすれば良いのだろうか。これまでの冷え対策で思い当たるのは厚着や



カイロ、足湯や暖房など体を「外側」から温めるものだ。しかし、これでは一時的に過ぎない。うす、本来私たちに備わっている調節機能を衰えさせ、逆効果になることもあるという。体を温めるには内側からの対策が必



「隠れ冷え体質」の可能性は十分にある。しかし逆にいえば、体温を高く保てばあらゆる不調を遠ざけることができるのだ。低温化の進んでしまった現代人にとって、冷え対策は「いまや必要不可欠」といっていいだろう。



「隠れ冷え体質」の可能性は十分にある。しかし逆にいえば、体温を高く保てばあらゆる不調を遠ざけることができるのだ。低温化の進んでしまった現代人にとって、冷え対策は「いまや必要不可欠」といっていいだろう。



「隠れ冷え体質」の可能性は十分にある。しかし逆にいえば、体温を高く保てばあらゆる不調を遠ざけることができるのだ。低温化の進んでしまった現代人にとって、冷え対策は「いまや必要不可欠」といっていいだろう。

「隠れ冷え体質」の可能性は十分にある。しかし逆にいえば、体温を高く保てばあらゆる不調を遠ざけることができるのだ。低温化の進んでしまった現代人にとって、冷え対策は「いまや必要不可欠」といっていいだろう。

成長7年、収穫は命がけ



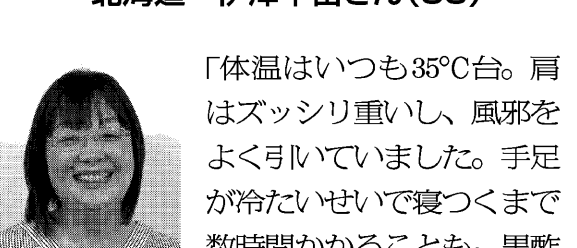
北の大地の肥沃な土壌で何年もかけて成長する行者にんにく。その収穫は急斜面で低い姿勢をとるために足腰への負担も相当なもの

「生えている場所は教えますね。とってきて分けたりはするけれど、ここ数年で採れる場所も減っています。貴重なものなんです。」という語るのは、採り手と呼ばれる農夫たち。彼らは山の奥深くに分け入り、熊やスズメバチとの遭遇もありうる危険な場所で、「行者にんにく」を収穫している。行者にんにくは北海道の山奥に自生するユリ科ネギ属の多年草で、旬は4月の半ばから5月の初旬とほんのわずか。さらに成長が遅く根から採ってしまうと約7年、茎の部分から切っても約8年はありつけない貴重な野草だ。

70代でも病気知らずでパワフル

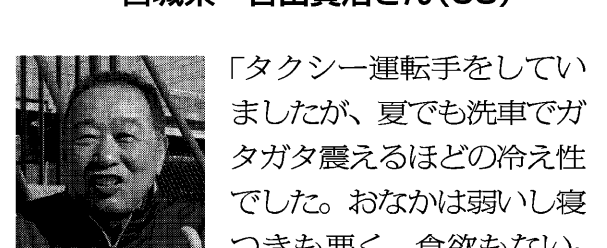
「一日素手で採って、皮が剥けてしまつぽ強い成分があるんです。」行者にんにくは、リンやシアリトリフルドなど80種以上の特殊な成分を含み、エネルギーを効率よく変換したり、体のつよさを予防しサラサラに保つてくれる。北海道の人々に

定期チェックもバッチリ



「体温はいつも 35°C 台。肩はズッシリ重たい、風邪をよく引いていました。手足が冷たいせいで寝つくまで数時間かかることも。黒酢を飲んだり健康に気がついてきたのに、定期チェックの数値まで注意されて…」そんな伊澤さんだったが、『北の大地の行者にんにく』を飲み始めた状況は一変。「手足がぽかぽかして夜スッと寝つけました！めぐりが良くなったおかげか、肩のズキズキも軽くなりました。うれしいことに定期チェックの数値まで安定！からだを温めるのって大事なことだったんですね」

たった3日で体温 36.6°C !



「タクシー運転手をしていましたが、夏でも洗車でガタガタ震えるほどの冷え性でした。おなかは弱いし寝つきも悪く、食欲もない。1時間歩いて汗をかかなくて、きつと冷え切っていたらどうかな」と吉田さんが『北の大地の行者にんにく』を知ったのはそんなとき。「3日後、体温が 36.6°C になってビックリ！体がぽかぽかして、5分歩くとドッと汗が出るんです。寝つきがよくなって、夜中にトイレで起きることもなくなりました。今では毎朝トイレでドッサリです！」

「まだまだ現役」51歳オンナの取材訪問記 北海道「禁断の野草」編

本日の取材先は北海道。「健康長寿の生活」を調査するべく、93歳のおばあちゃんに会いにきたのだ。すると、畑の方から女性が小走りやってきた。「寒いから来たわね。」信じられない！髪と顔、70歳と言われても疑われないだろう。さっそく肩を見せたいんだけど、白米に味噌汁、納豆、焼き魚、あまのこの漬物みたいなものはなにかしら。行者にんにくについてお話を聞いた。行者にんにくは毎日食べているから、悪いところなんてひとつもないよ。あんな顔色悪いね。手が水みたいで冷たいじゃないの！これを食べなさい！」

味見をするよ、にんにくの数はある強烈な香りにビックリ！するもたちまち手足の先までぽかぽかになってきた。これは、最近歳のせいとあきらめていただるさや頭のズキズキといった不調もどこへやら。行者にんにくって、いったい何者なんだ？

氷が冷たかった体が...こんなに温かいのは何十年ぶり!?

北海道 横溝のぞみさん44の場合

1日たった2粒で驚きの報告が!!

アイヌの人々が愛したぽかぽか野草 超・稀少な野草 行者にんにく

驚きの報告が!!

内側からぽかぽか、肩のズキズキも軽いです。冷えを退治したら、数値まで安定。

1時間歩いて汗をかかない「隠れ冷え」。3日後には 36.6°C 、トイレもドッサリ。手足の先までぽかぽか。ニオイも気にならず嬉しい!

内側からぽかぽか

1日たった2粒で

頭のズキズキめまい寝つけない 疲れやすい 定期チェックで注意ばかり... 気づかずか? それ、ぜんぶ冷えのせい!

体温 36.5°C 未満の方は「隠れ冷え」の可能性大!

累計販売数 40万袋突破!!

ぽかぽか野草で 冷えしらず!

野草たっぷりの小さな粒を飲むだけ!

安心の国内製造

ぽかぽか原料たっぷり

1日たった2粒だけ!

お手ごろ価格!

100%北海道産行者にんにく使用

北の大地の行者にんにく (60粒入り、約1ヵ月分)

通常 2,160円(税込)

定期ととくとくコースなら 初回からす〜っと 10%OFF!

1,944円(税込)

※稀少な原料を使うため、お一人様3袋までとさせていただきます。

●とくとくコースとは、毎月、あるいは2〜3月ごとに一度、定期にお届けするサービスです。●いつでも変更・休止が可能です。

▼「北の大地の行者にんにく」ご注文はこちらから▼

0120-37-8353

FAX 0120-37-8354 [24時間受付]

〒070-0031 (発行時間) 8:00~21:00 年中無休(毎年末年始を除く)

インターネット <https://www.yasakuouso.com/>

北海道旭川市 一途通 8-108 9F 有限会社 野野草CS「日刊工業新聞」係

●送料は全国一律200円。●送料は別添付の「送料」欄に記載されています。●商品は本誌に掲載の「商品画像」と異なる場合があります。●商品の到着は本誌掲載の「商品画像」と異なる場合があります。●商品の到着は本誌掲載の「商品画像」と異なる場合があります。